

経営協議会議事要旨

1. 日時 令和7年1月21日(火) 13:28 ~ 14:40
2. 場所 弘前大学創立50周年記念会館2階「岩木ホール」
3. 出席者 福田(学長・議長)
石鉢, 今井, 岡井, 櫛引, 九戸, 須藤, 永澤
若林, 藤波, 岡崎, 曾我, 橋本, 袴田, 牛田の各委員14名
- 欠席者 小谷, 中林の各委員2名
- 陪席者 中川監事, 三上監事, 佐野理事, 柏倉学長特別補佐, 村下学長特別補佐,
本田学長特別補佐, 加藤法人内部監査室長
- 事務部陪席 大宮総務部長, 浅利財務部長, 山口学務部長, 赤石施設環境部長, 古館研究推進部長(兼)社会連携部長, 中野医学部附属病院事務部長, 今国際連携本部調整役, 金沢総務企画課長, 工藤広報・情報戦略課長, 鳥潟人事課長, 九鬼財務企画課長, 長谷川財務管理課長, 今契約課長, 羽角施設環境企画課長

4. 配付資料

- 資料 1-1 【事前配付】 中期目標・中期計画の変更手続き等について(事務連絡)
- 資料 1-2 【事前配付】 国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表(案)
- 資料 2 【当日配付】 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 資料 3 【事前配付】 令和6年度弘前大学予算実施計画の変更について(案)
- 資料 4 【事前配付】 大学院理工学研究科博士前期課程理工学専攻の入学定員増について
- 資料 5 【事前配付】 医学部保健学科3年次編入学の廃止について
- 資料 6 【事前配付】 弘前大学の令和6年度補正予算について
- 資料 7 【事前配付】 弘前大学の令和7年度運営費交付金について
- 資料 8 【事前配付】 土地(弘前市紙漣町)の寄附受け入れ完了について
- 資料 9 【事前配付】 令和6年度内部監査結果報告書

5. 議事

議長から、令和6年11月19日開催の議事要旨(案)の確認が行われ、原案のとおり承認された。

○審議事項

審議 1 中期目標・中期計画の変更手続き等について

若林企画担当理事から、資料1-1及び資料1-2に基づき、中期目標・中期計画の変更手続き等について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議 2 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について

藤波総務担当理事から、資料2に基づき、国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議 3 令和6年度弘前大学予算実施計画の変更について

藤波総務担当理事から、資料3に基づき、弘前大学予算実施計画の変更について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告 1 大学院理工学研究科博士前期課程理工学専攻の入学定員増について

若林企画担当理事から、資料4に基づき、大学院理工学研究科博士前期課程理工学専攻の入学定員増について報告があった。

報告2 医学部保健学科3年次編入学の廃止について

若林企画担当理事から、資料5に基づき、医学部保健学科3年次編入学の廃止について報告があった。

報告3 令和6年度補正予算について

藤波総務担当理事から、資料6に基づき、弘前大学の令和6年度補正予算について報告があった。

報告4 弘前大学の令和7年度運営費交付金について

藤波総務担当理事から、資料7に基づき、弘前大学の令和7年度運営費交付金について報告があった。

報告5 土地（弘前市紙漣町）の寄附受け入れ完了について

藤波総務担当理事から、資料8に基づき、土地（弘前市紙漣町）の寄附受け入れ完了について報告があった。

報告6 令和6年度内部監査（基本監査項目）の結果について

加藤法人内部監査室長から、資料9に基づき、令和6年度内部監査（基本監査項目）の結果について報告があった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 医学部保健学科3年次編入学の廃止について

- 編入学試験の志願者が減っている要因は何か。
- 少子化の影響や編入学後のカリキュラムが過密で学生にとって負担が大きく、敬遠されている傾向にあることが要因だと考えている。
- 短大が減り、4年制大学が増えたことにより、編入学のニーズがなくなったことも要因の一つである。

2 弘前大学の令和7年度運営費交付金について

- 基幹運営費交付金は年々下がってきているという認識で良いか。
- シーリングが確実にかかるため、年々下がる。成果を中心とする実績状況に基づく配分がプラスに転じた場合は下がり幅が少ないということはある。
- この先も厳しい財政状況で経営していかなければならない状況が続くということか。
- 制度が変わらない限りはそのとおりである。
- 成果を中心とする実績状況に基づく配分のうち、教育に関する評価区分が全体的に足を引っ張っているように思うが、卒業・修了者の就職・進学状況が他の大学と比較して順位が低い要因は何か。
- 就職率は高いレベルで競っているため、僅差で順位が上下する。博士号授与率は修了年限内での博士号授与数で積算するため、社会人学生を多く受け入れている研究科では長期履修をしている学生もいることから、やむを得ず低い値になってしまう。
最も改善が必要なのは大学教育改革に向けた取組の実施状況だと考えている。大学院の学生には専門的スキルと汎用的スキルの獲得が求められているが、本学では、各学生のスキルレベルの可視化ができていないことが評価を下げた理由であり、次の機会に達成できるよう取り組んでいきたい。

3 令和6年度内部監査（基本監査項目）の結果について

- 人材の確保に苦慮しているという点について、指摘だけではなく、解決案を示す等をした方が良いと思うが。
- 監査という立場からどこまで踏み込んだ言及をするのかについては、監事監査、外部監査、法人内部監査の3者で協議し、検討課題としたい。
- 職員の確保は厳しい状況にあり、いくつか課題はあると思うが、最も重要なのは業務の改善、効率化であると考えている。18歳人口の減少で益々人材の確保が難しくなるため、業務改善を進めるとともに限られた人員でも対応できるよう業務の効率化を進めていく。

4 雪害について

- 大雪による学生や大学施設への被害はなかったのか。
- 雪による枝折れは多少発生したが、大きな施設への被害は発生していない。
- 1月は共通テスト終了までオンライン授業を実施していることもあり、学生への被害は特に発生していない。

以上